宮城

仙台総局(東北復興取材センター)
〒980-0014
仙台市青葉区本町2-2-6
☎ 022・223・3116
fax 022・223・3119
mail sendai@asahi.com
石巻 ☎ 0225・95・0647
気仙沼 ☎ 0226・22・7060
宮城地域情報
http://www.asahi.com/area/miyagi/
購読・配達のご用は
☎ 0120・33・0843 (7:00〜21:00)
広告のご用は
☎ 022・263・0131
折り込みのご用は
☎ 022・236・6763

きょうの天気

6〜12時 降水確率 12〜18時

20	仙台	20
0	古川	20
0	石巻	20
0	白石	20

仙台 南東 / 南南東 石巻
古川 南南東 / 南東 白石
湿度 50% 波 2.0m

気温	最高	最低
仙台	25度	15度
古川	26度	12度
石巻	23度	14度
白石	28度	15度

あす

仙台 南東 / 南 石巻
古川 西 / 西 白石
湿度 50% 波 2.0m

6月7日
(旧4月19日)

日出	4.13
日入	18.58
月出	22.27
月入	6.46

月齢18.5

マイナ保険証導入 7割超でトラブル

県保険医協会アンケート

マイナンバーカードを健康保険証として使う「マイナ保険証」をめぐり、県保険医協会が調査したところ、システムを導入している医療機関の7割超で、保険者の情報が正しく反映されていないなどのトラブルが確認された。窓口で10割負担を患者に請求したケースもあったという。

県内の開業医らでつくる同協会は5月29日〜6月7日、会員の641医療機関にアンケートを行っている。5月30日までに集計した60件分について、中間結果として公表した。

マイナ保険証を利用して窓口で保険資格を確認する「オンライン資格確認」のシステムを導入しているのは85%(51件)で、このうち76・5%(39件)でシステムをめぐるトラブルを経験したと回答した。

トラブルの内容は「保険者情報が正しく反映されていなかった」が最も多く、「カードリーダーまたはパソコンの不具合によりマイナ保険証を読み取りできなかった」、「マイナ保険証の不具合で読み取りができなかった」などが続いた。他人の情報が誤登録されていた事例はなかった。

一方、トラブルがあった医療機関のうち、17・9%(7件)が「いったん10割負担を患者に請求した」と答えた。

同協会は「医療機関は十分な準備の時間がないままシステム導入をせざるを得ない状況で、様々なトラブルや苦情が報告されている」として、政府に対して制度の見直しや改善を求める考えだ。

(中島嘉克)

大曲の花火 今年のテーマは「平和」

8月26日開催 チケット6月8日発売

秋田県大仙市の「大曲の花火」実行委員会は5日、全国花火競技大会を8月26日に雄物川河畔で開催すると発表した。95回目になる今大会のテーマは「平和」で、ウクライナの国花ヒマワリをモチーフにした花火を打ち上げる。

大会は「昼花火」が午後5時10分、「夜花火」が午後6時50分の開始。計1万8千発が用意され、ヒマワリの花火は午後8時45分ごろ、ロシア人作曲家ムソルグスキーの組曲に乗せて打ち上げられる。

大曲商工会議所の斎藤靖会頭は「ロシアのウクライナ侵攻によって、平和の尊さを感じた。今こそ、火薬の平和利用を世界に発信したい」と話す。

大会はコロナ禍で2020、21年と中止になり、22年は観覧席を減らし、露店を設けずに実施されたが、今年は4年ぶりに約100店の露店が出店する。

小松煙火工業(大仙市)の小松忠信社長は「花火師はみなさんの声援があって、新しい技術を開発できる。再び最高のひのき舞台に上がれるのは大変光栄だ」と意気込む。

実行委は今年の観客数を約75万人と予想。有料観覧席を9万9千人分用意しており、インターネットによる販売を6月8日からローソンチケットやイープラスで始める。問い合わせは大曲商工会議所(0187・88・8073)へ。(室矢英樹)

4年前に開催された「大曲の花火」=2019年8月31日、秋田県大仙市

助けましょうよ「ご先祖の茶室」

仙台藩伊達家ゆかり「大條家茶室」

山元町坂元地区に、仙台藩伊達家ゆかりの茶室が、草に埋もれてたたずんでいる。町の指定文化財「大條家茶室」だ。東日本大震災の被災などで今にも崩れそうになっていたが、今年末にも町が修復に乗り出すことになった。思いがけない助っ人も現れている。

東日本大震災で損傷した大條家茶室=山元町坂元地区

大正時代、仙台にあった頃の大條家茶室=いずれも山元町教育委員会提供

サンド・伊達みきおさん「興味持って」

サンドウィッチマンの2人。左が伊達みきおさん、右は富澤たけしさん

大條家は、室町時代に伊達家から分かれた家系だ。初代仙台藩主・伊達政宗から、現在の山元町坂元を拝領し、代々家臣として伊達家に仕えながら治めてきた。江戸後期の天保3(1832)年、藩主伊達斉邦が、大條道直に与えたのが、この茶室だ。

茶室は明治以降も仙台の大條邸に置かれていたが、1932年、坂元の大條家の居城だった一角に移築。45年の仙台大空襲による焼失を逃れ、仙台藩の上級武士たちの茶の湯文化を伝える貴重な建物になった。

庭園に囲まれ、土壁に円窓が切られた書院造りで、広さ約45平方メートル。移築後もここで茶道教室が開かれるなど、地域の人の交わりの場になってきたという。

ところが2011年、大震災が山元町を襲う。茶室は津波の被害は免れたものの、基礎や屋根が損傷し、使用不能に。被災した人の再建支援や復興まちづくりに追われて、文化財の修復は後回しになった。茶室は風雨にさらされ、一昨年、昨年と続いた地震もあって、さらに腐朽が進んでしまった。

大震災から今年で12年。

復興のめども立ったことから、修復事業がようやく本格的に動き出す。町は、建物の補修に7千万円以上かかると見込み、一部に充てようと、特産品を返礼品に「ふるさと納税型クラウドファンディング(CF)」を9月29日まで実施中だ。

話を伝え聞き、助っ人になっているのが、仙台出身のお笑いコンビ、サンドウィッチマンの伊達みきおさん。

実は、大條家は明治維新の後「伊達」に改姓しており、みきおさんは大條家の子孫の一人だったのだ。

伊達さんは5月末、コンビがパーソナリティーを務めるラジオ番組で、こう呼びかけた。

「(復興も)ある程度落ち着いてきたんで、茶室を直しませんかって、山元町ががんばってるんですよ」「いろんな方に興味を持ってもらいたい。助けてあげましょうよ」

その後数日間で、CFの寄付額はぐんと伸びたという。

町は、来年中には茶室の補修を終え、公開を再開する予定だ。さらに段階的に庭園なども整え、再び文化交流の拠点にすることをめざす。

町教育委員会で文化財を担当する山田隆博さんは、「伊達みきおさんは、地元のお殿様の末裔。復活した茶室で、ぜひお点前をと思っております」。

(石橋英昭)

震災で損傷、腐朽進む 山元町、修復へCF

裁判官交代 許可抗告認める

仙台高裁 生活保護の基準額

国が2013〜15年に生活保護の基準額を下げたのは憲法違反だとして、受給者らが取り消しを求めている訴訟に関し、(石栗正子裁判長)島公彦裁判官を審理するよう最高裁に上告審立てを認めなかった原告らがほしいとする原告の申

避難計画の高裁に判断

女川原発差し

東北電力が再稼働す女川原発2号町、石巻市)をめ辺住民らが重大事の避難計画に実効として運転の差しめた訴訟で、原日、訴えを退けた判決を不服とし、に控訴した。

5月24日の地「大事故発生の危告側で立証しなけ画の不備を判断す画の実効性は判ない」と結論付け求を棄却した。

これに対し、5会見した弁護団は画の不備を問う側

中林耳鼻咽喉科 アレルギー科

新潟工芸品オンラインショップ
kendenten.jp
けんでんてん

LAND ROVER
ABOVE & BEYOND
RANGE ROVER